

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ペリー放課後 真庭		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 7日		2024年 12月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・常により良い支援を行うためにはどうすればよいか、スタッフ間で話し合っている。	・仕事での困りや悩みをすぐに共有できる環境が整えられており、報連相が常に積極的に行われている。 ・ひとりひとりの意見を大切にし、より良いチームでの支援を行うにはどうすればよいか話せる機会を作っている。	・より専門的な知識を得るための研修等はいつでも受けられるよう体制を整えている。
2	・スタッフが、利用児の良い面を必ず知っている	・スタッフ間で良い面をしっかりと共有し、面談や送迎時のお話の中で保護者さんにも知っていただく機会を作っている。	・定期ミーティングを行い、子どもたちへの共通認識を深めている。
3	・目の前には畑が広がる自然豊かな環境	・危険な箇所はスタッフ全員で確認し、子どもたちが安全に自然の中で過ごせるようにしている。	・楽しめる環境を確保するための環境整備や、その時々楽しめる工夫(畑、季節を感じる遊び、広い庭を利用したクッキング等)を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族が参加できる研修会・情報共有の機会、保護者間交流の機会が少ないと指摘されている。	・コロナ以降、保護者やご家族に参加していたイベント等が少なくなっていたり、研修のご提案もありましたが、時間や日にちの問題かあまり参加していただけないように感じる。	・保護者に向けて、イベントや研修、交流会の情報をしっかりと共有していく。 ・開催日時が参加しにくい時間での場合もあるので、今よりも保護者間交流のできるイベントを積極的に行って機会を増やしていく。 ・スタッフが間に入り、交流がスムーズになるように手助けしていく。
2	・子どもたちが一人で過ごせる空間が少ない	・教室は広く、ダイナミックな遊びやみんなで過ごす場としては良いが、その分一人で落ち着いて過ごせる場所が少なくなっている	・個室というよりは、ちょっと狭い自分だけの空間を確保できるようにしていく。 ・パテーションや、家具の配置を工夫し、そういった空間を作っていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ベリー放課後 真庭				公表日	2025年03月01日		
		利用児童数	2024年12月07日～2024年12月23日実施		回収数	21家庭/33家庭		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	74%	0%	0%	26%		・子どもたちがしっかりと活動できるようスペースの確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	61%	13%	0%	26%	・職員が何人に対応しているのか分からない	・行政が定める基準配置よりも多い人数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	65%	9%	4%	22%		・支援によって空間を変えられるように整備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	70%	4%	0%	26%		・支援後の清掃は毎日行っています。 ・こどもたちの様子等に合わせた適宜心地よく過ごせるような空間づくりを行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	70%	22%	0%	9%		・より専門性のある支援が行えるよう、スタッフの講習も積極的に行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	74%	4%	0%	22%		・支援プログラムの内容を保護者の皆様にご覧いただき、適切な個別計画の作成に努めています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	65%	17%	0%	17%		・保護者及び関係機関を巻き込み、適切な個別計画の作成に努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	78%	4%	0%	17%		・適切な個別計画の作成に努めており、それを元に支援を行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	78%	13%	0%	4%		・適切な個別計画の作成に努めており、それを元に支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	87%	9%	0%	4%		・様々な活動を通して支援を行えるよう工夫しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	57%	9%	13%	22%		・みんなの食堂や鳥取県の放課後デイ施設との交流イベント等を介して幅広い地域の子どもと活動する機会を作っています。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	87%	9%	0%	4%		・説明は必ず行っていますが、利用をしていて気になる点等ございましたらいつでもお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96%	4%	0%	0%		・説明は必ず行っていますが、利用をしていて気になる点等ございましたらいつでもお問い合わせください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	57%	22%	0%	22%		・各分野の専門家をお呼びして、イベントを年一度程度開催しているので、保護者の皆様が認知できるよう啓発に努めています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	78%	17%	0%	4%		・SNS等を介した日々の活動状況の発信をしているので、保護者さんにより伝わるよう運営の改善に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	91%	4%	0%	4%		・施設からの視点で、適切な情報提供や助言ができるよう努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	87%	13%	0%	0%		・家庭環境を考慮した支援を行っております。よりご家族の理解が得られるよう努めてまいります。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	39%	9%	9%	43%	・不定期で、発達障害のサービスに関する説明の会など開催しているが、保護者が交流できるような場になるよう努めていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83%	0%	0%	17%	・公式LINE等を使用し、いつでもご意見をいただけるよう工夫しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	78%	9%	4%	9%	・公式LINE等を使用し、いつでもご意見をいただけるよう工夫しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	96%	0%	4%	0%	・SNS等を介した日々の活動状況の発信をしているので、保護者さんにより伝わるよう運営の改善に努めます。 ・自己評価の結果は、HPIに掲載されています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	83%	9%	0%	9%	・今後も、個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	61%	4%	0%	35%	・運営委員会を設置し、適切に実施しています。周知していただけるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	61%	0%	0%	39%	・運営委員会を設置し、適切に実施しています。今後保護者の皆様に周知していただけるよう努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	61%	0%	0%	39%	・運営委員会を設置し、適切に実施しています。今後保護者の皆様に周知していただけるよう努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	74%	0%	0%	26%	・運営委員会を設置し、適切に実施しています。今後保護者の皆様に周知していただけるよう努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	87%	13%	0%	0%	・今後も安心して通所していただけるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	65%	30%	4%	0%	施設内では、子どもたちは常に楽しくソーシャルスキルトレーニングを行っています
	29	事業所の支援に満足していますか。	83%	13%	4%	0%	・より満足していただけるように努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ペリー放課後 真庭				公表日	2025年03月01日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	子供によってスタッフを割り振り対応している	子どもの状態により、個別に支援が必要になる事がよくある。それぞれのスタッフが気にして関わられる様になって欲しい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	車椅子の子用に座ったり寝転べるスペースを確保してある		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60%	40%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	60%	40%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	思ったことは共有することを周知するようには努めている。	思いを伝えてくれる方もいるが、伝えず、言える人にだけ伝えている状況。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		第三者がいない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%		個人情報もあること、支援時間に合わせて出勤されるスタッフが多く、支援計画（目標）に従事するスタッフに徹底して伝える事は難しい。どう伝えたら良いか。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	80%	20%		保護者だけでなく、利用児にもアセスメントをとってみたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	60%	40%		児発管から計画に関して説明をする が、簡潔な目標設定（文面が簡潔でない）のでわかりにくいと思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	60%	40%		日常の観察は各スタッフは出来ているが、個別の支援、療育ができていないので、それが必要なのか？	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%		時間をみて情報など共有したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	その場にいるスタッフとは、その日の子の様子についての振り返りをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	20%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100%	0%		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%		卒業をする子がこれからなので連携できればと思っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40%	60%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	40%	60%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	60%	40%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		

こ ど も の 安 全 確 保	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		